

わが国の 農業の将来を考える —今求められているものは何か

2025年
11月1日(土)
13時00時~17時30分

(((zoomウェビナーで同時配信)))
東京大学弥生講堂

対面参加：予約不要 / オンラインは事前申込



開催にあたって

日本農学アカデミー理事 渡部 終五 (総合司会)
開催挨拶

日本農学アカデミー会長 生源寺 真一

基調講演

食料・農業・農村基本計画の概要
中嶋 康博 (女子栄養大学)

経営・ビジネス視点でみる農業の課題と可能性
丸山 侑佑 (ハヶ岳農業大学校)

農企業にみる戦略的経営と共通価値の創造
渋谷 往男 (東京農業大学)

スマート農業の役割
野口 伸 (北海道大学)

肥料の安定供給リスクと食料安全保障
小針 美和 (農林中金総合研究所)

農業・食・エネルギーをめぐる現場の新たな潮流
金丸 弘美 (食環境ジャーナリスト)

総合討論 司会：中嶋 康博

閉会挨拶 公益財団法人農学会会長 丹下 健

開催趣旨

2025年4月に食料・農業・農村基本法改正後初の「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定された。わが国の農業、農村は「国の基」とされるが、その持続性を脅かす国内外のさまざまな問題が指摘されており、基本計画ではそれらへの対処方針が示されている。本シンポジウムでは基本計画の枠組みやポイントを紹介しながら、わが国の農業が直面する現状と将来の目指すべき姿をさまざまな観点から議論する。